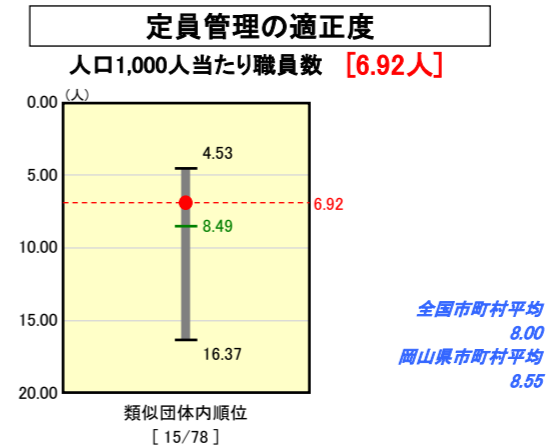
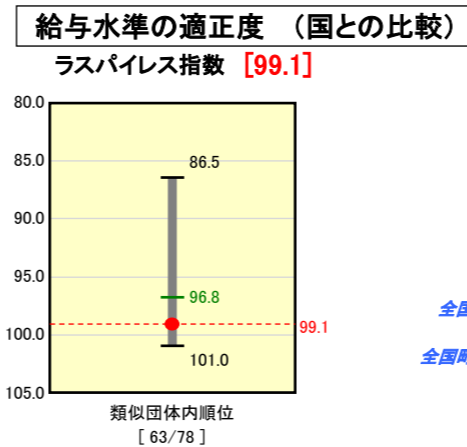
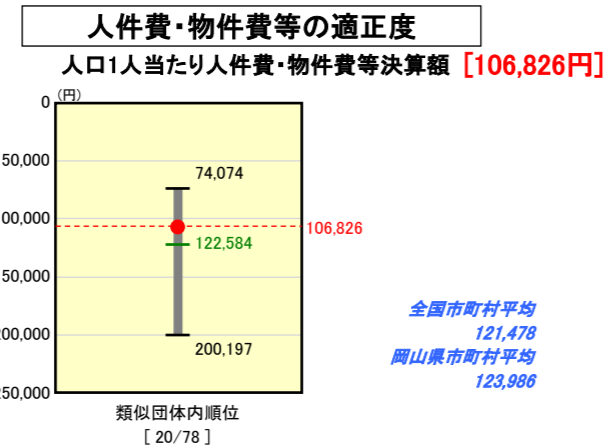
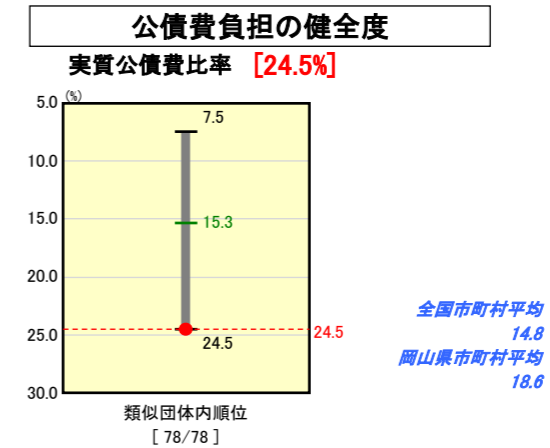
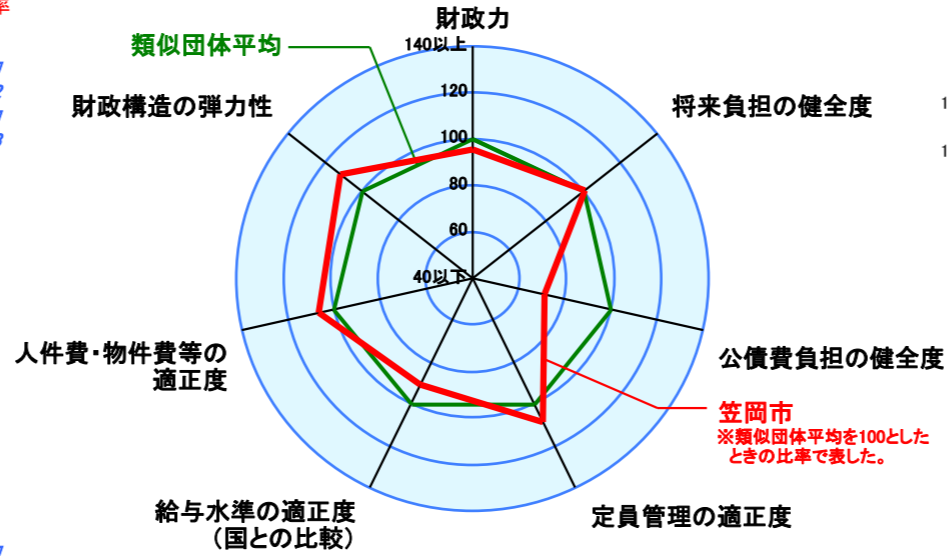
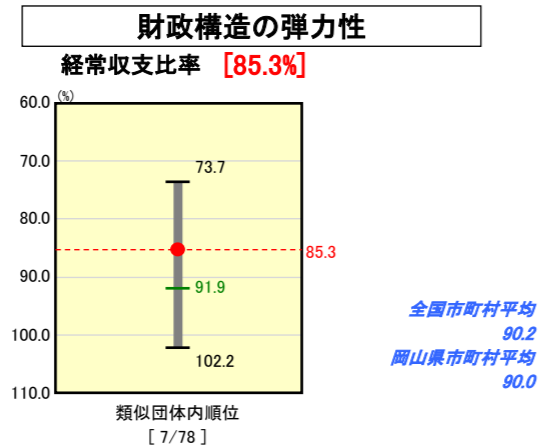
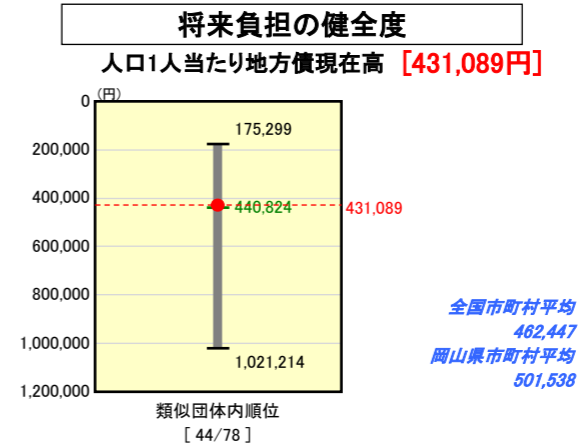
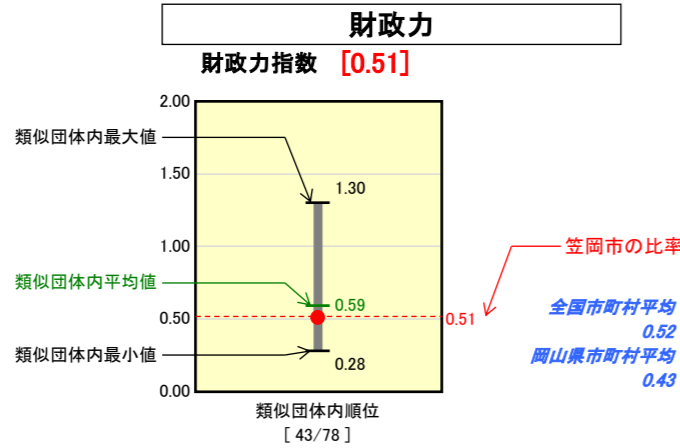


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

岡山県 笠岡市

人口	57,369	人(H18.3.31現在)
面積	136.00	km ²
歳入総額	22,062,418	千円
歳出総額	21,531,083	千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数: 人口の減少(対前年比0.7%減)や全国平均を上回る高齢化率(H18.4.1現在 27.3%)に加え、市内に中心となる産業が少ないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体平均を下回っている。投資的経費を抑制する等、歳入の徹底的な見直しを行うとともに、税收の徴収率向上を図り、歳入確保に努める。

経常収支比率: 平成15年度に策定した財政健全化計画を毎年度、見直すとともに、予算編成において枠配分方式を採用し、「歳入に見合った歳出」を再認識することで一般財源の縮減に努めており、類似団体平均を下回っている。引き続き、民間委託の推進、入札制度の見直しにより、経常経費の削減に努める。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額: 類似団体平均を下回っているのは、主に人件費を要因としている。平成16年度から平成18年度までの3年間は退職者不補充とし、人件費の抑制を図った。物件費についても人材派遣の活用や民間委託を積極的に推進し、経常経費の圧縮に努める。

ラスパイレ指数: 全国市平均より1.7ポイント、類似団体平均より2.3ポイント上回っている。このため、平成18年4月に給与構造を改革するとともに、平成19年1月に給料表の見直しを実施し、適正化に努めている。

人口1,000人当たり職員数: 平成16年度からの3年間で退職者不補充としたことで、類似団体平均を下回っている。今後も、職員の定員適正化計画に基づき、行政需要に合わせた適正な人員配置に努める。

実質公債費比率: 類似団体内で最下位となった主な要因は、下水道事業会計への繰出金に占める公債費及び国営笠岡湾干拓事業の償還金が、財政規模に対して多額なためである。平成15年度に財政健全化計画を策定し、指数は改善傾向にあるものの、引き続き、公債費負担適正化計画及び公営企業経営健全化計画とも合わせて、健全な財政基盤の確立を図る。

人口1人当たり地方債現在高: 財政健全化計画の中で、地方債の発行総額を財源対策債を除き単年度15億円以内に制限し、償還額以上に借入をしないことで、計画的に起債残高を減少させた。これにより、普通会計ベースでは類似団体平均まで改善した。